

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日本特殊陶業株式会社（証券コード:5334）

【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
債券格付	AA-
発行登録債予備格付	AA-

■格付事由

- 大手自動車部品メーカー。世界トップシェアのスパークプラグや酸素センサなど自動車関連製品のほか、IC パッケージなどを扱う。高度な製造技術が必要な中核部品（セラミック）を中心に国内生産のウエートが大きい一方、製品の海外売上比率が8割超と高いことから為替変動の影響を受け易い。15、16年に米Wells社（スイッチ、イグニッションコイル等の製造販売）の買収を含め3件のM&Aを実施し、18年に酸素療法システム業界大手の米チャートグループから医療用の酸素濃縮装置事業を買収した。
- 利益水準は外部環境の影響で伸び悩んでいるが中期的に回復する見通しである。自動車関連事業は世界的な新車販売低迷の中、欧州・中国を中心に高付加価値のプラグ・センサの販売は増加しており、特にアフター用が7割強を占めるプラグが収益を下支えしている。中期的には各国の環境規制強化を背景に高付加価値のプラグ・センサの拡販が期待できる。テクニカルセラミックス関連事業（セラミック）は半導体製造装置市場の低迷の影響を受けているが足元で回復の兆しが見える。買収関連では米Wells社の利益貢献は投資額からみると十分とは言えないものの、医療用セラミック製品の事業は比較的安定して推移している。プラグの生産能力増強を進めているが、良好な財務構成は今後も維持される見通しである。以上を勘案し、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 20/3期営業利益は前期比7.5%減の540億円の計画（20/3期第2四半期発表時点）。為替変動の影響や減価償却費増加が減益要因となる見込み。テクニカルセラミックス関連事業ではセラミック事業が半導体製造装置市場の減速の影響で8億円の赤字見込みである一方、半導体事業は固定費圧縮と高付加価値製品への集中により通期黒字化が視野に入っている。
- 近年のM&Aで有利子負債は増加したが、20/3期第2四半期末自己資本比率61.4%など財務諸指標は依然良好な水準にある。プラグの生産能力増強を進めているが、今後の設備投資は概ね営業キャッシュフローの範囲内とみられ、良好な財務構成は維持される見通しである。

（担当）窪田 幹也・上村 暁生

■格付対象

発行体：日本特殊陶業株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第7回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2015年10月27日	2020年10月27日	0.296%	AA-
第8回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年6月14日	2023年6月14日	0.110%	AA-
第9回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年6月14日	2028年6月14日	0.370%	AA-
第10回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2019年6月20日	2024年6月20日	0.110%	AA-

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第11回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年6月20日	2029年6月20日	0.270%	AA-
対象	発行予定額	発行予定期間		予備格付	
発行登録債	600億円	2019年4月18日から2年間		AA-	

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2019年12月23日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：窪田 幹也
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「自動車・自動車部品」（2012年3月26日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 日本特殊陶業株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であっても、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル